

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年

2022～2023年度クラブ目標

『想像しよう、未来のロータリー
創造しよう、これからのクラブ』



イマジン
ロータリー

会長 高 畠 裕
幹事 車 田 裕 介



2022～23年度国際ロータリーテーマ

第1755回例会

令和 5 年 4 月 20 日 (12:30～13:30)

○ソング

- 奉仕の理想

○スマイルBOX

- 高畠裕会長（昨日の米沢中央RCさんの来訪に対応していただいた皆様、ありがとうございました。大竹会員、本日の卓話ありがとうございました。）
- 松永紀男会員（大竹様、卓話ありがとうございます。私、3年間の眠りからやっと覚めました。これからリハビリに努めます。改めて、どうぞよろしくお願い申し上げます。）
- 佐藤清作会員（大竹憂子会員、卓話ご苦労様でした。私はこのところ連続して例会を欠席してしまいました。仕事が忙しいということでもなく、体調が良くないということでもありません。単にずる休みです。）
- 永野文雄会員（大竹憂子会員、卓話ありがとうございます。内容理解できました。）
- 金田昇会員（今回はリモートでの参加で内容把握がまいちでした。勉強します。大竹さん、卓話ありがとうございました。）
- 宮本多可夫会員（だいぶ暖かくなりました。大竹会員、卓話ありがとうございました。）
- 運天直人会員（今月、29・30日にCGM様と合同で弊社コンテナパークにおきまして一周年イベントを行います。当日はコンテナの現地見学会やBYD最新車種の試乗会などございますので、皆様のご来場お待ちしております。）

▶第1755回例会出席状況 (R5年4月20日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	52名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	66名
Ⓒ ①の出席者数	28名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	7名
Ⓕ ②の出席者数	10名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	45名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	62
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	72.5%

▶例会日：第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

高島裕会長



皆さん、こんにちは。お忙しい中、例会のほうに出席をいただきまして誠にありがとうございます。今日テレビのニュースを見ていたら、第9波が来るんじゃないかみたいなニュースもしていましたが、日頃から感染対策、まだマスクしている方沢山いらっしゃると思いますが、引き続き感染予防には注意していただいて、少しでも自分の身を、そして家族の身を守るような対策を取っていただければというふうに考えております。昨日、米沢中央さんが白河西のほうにお邪魔したいということで、昨日早速「タントゥ」さんでランチ会を行いました。向こうからは、次年度の会長、幹事さん。そして、担当の白河というシスター委員長さん。もう一人女性の方、次次年度の副幹事さんということで4名の方がお邪魔していただきまして、佐藤幸彦年度の時の打ち合わせをされて帰りましたということをご報告させていただきたいと思います。その後、村上副幹事、そして金田パスト会長がご案内して、中目さんの南湖神社の宝物館をご案内していただいたということになっております。本当に昨日参加された皆様、ありがとうございます。お世話になりました。ということで、うちのクラブからはその節、佐藤会長エレクト、阿部副会長、金田パスト会長、村上副幹事、車田幹事、そして私の6名が参加させていただいたような形でありました。また先日、白河市の桜祭りが開催され、土曜日はわたくしも商工会議所の担当として、きつねうち温泉に泊まられます川越からいらっしゃる鉄砲隊の皆様の懇親会のほうに同席をさせていただきました。そして、次の日には桜祭りということで、雨も上がりちょっと風が強かったんですが、結構鉄砲隊を見たくて来場者が沢山小峰城のほうに来ていたということで、桜はないけどそういった華があるということで、市民の皆様も楽しんでいただけたのかなというふうに感じております。また、そこで毎年来られている方、川越鉄砲隊の中での隊長さん、寺田会長さんと仰るんですが、その方もやはり好きでやっではいるんですが、個人的にはなりきってやらせてもらっている。だから、知り合いが手を振ったからといって迂闊に笑顔を出したり手を振ったりすることは我々はしませんということで。実際次の日に私、手を振ってみたらやっぱり無視されましたね。そんな感じでなりきるということも大切なのかなというふうに私自身考えました。あと、昨日の夕方、「白河高校の100年の歩み展」というものがありまして、母校であることから「マイタウン」のほうにちょっとお邪魔しました。すると、大正11年に県立の白河中学校として設立された白河高校ですが、その100周年の歩みがパネルや何やらで展示

されてあります。その中でも、白河高校にゆかりのある例えば今井珠泉さんだったり、福田利明さんだったりといった、そういった方々の絵や書物など大変貴重な物が展示されております。来週の月曜日まで展示されておりますので、時間のある方は是非無料ですのでご覧になっていただければというふうに思っております。また昨日、市役所のほうにたまたま用事がありまして用事を済ませた後、帰りがてら正面玄関の所に住友ゴムの工場長さんと総務の女性の方がいらっしゃったので、ちょっと立ち話をさせていただいたら、見たことない方がいらっしゃってということで名刺のほう交換させていただいたら、「住友ゴム工業株式会社」の、本社トップの山本悟さんという社長さんがいらっしゃってたようで、ご挨拶させていただきました。住友ゴム工業さんも白河工場では、今回タイヤを製造する過程に水素燃料を使うということで、2050年のカーボン排出ゼロということに対して真摯に向き合っているような会社でございます。そういった会社が地元にあるというのは非常に我々にとってもありがたいことでもありますし、スチームを起こすのにも今まで液化天然ガスを使っていたものを、今度は水素ガスや太陽光の燃料でタイヤを形成するというような過程を作っているということで、本当に先進的な会社だなというふうに思っております。そのような会社が地元にあることを誇りに思いながら、我々も白河の地を楽しんでいければというふうに考えております。また、今日は会員卓話ということで、大竹憂子さんのほうから会員卓話があります。内容は虐待についての話だと思いますので、これから虐待に関しても今、世の中では結構多いと思います。私も今日、大竹さんの話を聞いて家庭内で受けている虐待に関して参考になればというふうに思っておりますので、自分自身に当てはめて考えてみたいと思います。また、来週は矢吹ロータリークラブ主催の観桜会がございます。今現在、29名の参加をいただいております。バスも出ますので、是非皆さんで桜はちょっと散ってしまいましたが、温泉に入ることも可能です。ですので、皆さんで矢吹の地で観桜会を楽しみたいというふうに思っておりますので、来週の例会も是非喜んで参加していただければと思っております。残り、私と車田幹事に関してもわずかになってきました。ちょっと寂しい部分もあるんですが、次の佐藤会長エレクトも今もう研修受けたりなんだりと忙しい時期であります。残り9回の例会が、皆様にとって有意義な例会となるよう努めてまいりたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いしたいと思います。今日は大竹さんの卓話、楽しみにしておりますのでどうぞよろしく願いたいと思います。以上、会長の話とさせていただきます。

■幹事報告

車田裕介幹事

- ガバナー 佐藤正道：計報
- 米山記念奨学会事務局長 柚木裕子：ハイライトよねやま277号
- 福島民報社：福島民報広告掲載紙
- (株)生駒時計店：CATALOGUE 2023-2024
- 研修・開発担当部：クラブでの役立つロータリーのリソース
- ガバナー 佐藤正道：計報

■本日のプログラム

会員卓話

○大竹憂子会員



皆さん、改めましてこんにちは。卓話のお話をいただいた時に、女性ならではのお話をお願いいたしますというように話だったんですよ。女性ならではで、ちょっと楽しい話をとってはいたんですけども、女性ならではという

ことで女性局のほうで活動してるこの189の普及も含めてお話できたらなというふうに思いましたので、楽しいお話ではないかもしれませんが聞いていただければと思います。わたくし西郷村議会議員になりました、その時は無所属という形でしたが自民党県連のほうから女性局の副幹事長をお願いできないかという話がありました。その時に、自民党女性局の活動って何って思いました。それを聞いたら、自民党女性局としてはハッピーオレンジ運動というのを中心に活動してますというお話でした。オレンジリボン運動というのがありまして、それを自民党の女性局は応援して活動してるんですという話を伺い、それは素晴らしいことだなと思いましたので、すぐに一つ返事で「はい、喜んで。」ということで引き受けさせていただいたんですが、コロナ禍ということもありまして、なかなかこのハッピーオレンジ運動について活動することができなかったのが現状ではあります。ですが、細々ながら多少その活動を続けてきて、今ももちろん続けています。まず、オレンジリボンということに対して、今いらっしゃる皆さんの中でオレンジリボン運動

というのをご存じの方がどのくらいいらっしゃるのかなとは思いますが、ご存じの方っていらっしゃいますか。やはり、ご存じない方のほうが多いですね。オレンジリボン運動というのは、虐待などの、簡単に言いますと児童虐待防止という運動をしているところなんですけども。オレンジリボンの由来と申しますか、オレンジリボン運動が出来たのが2004年の栃木県の小山市でした。3歳と4歳の兄弟が父親の友人から暴力を受け、その暴力を受けた一度目の時にはコンビニの店員さんが気付いて通報してくださって一度は保護されたんです。ですがその後、お家に戻ってきてからまたその友人の方から暴力を受けるような形になって、その時は車の中で暴力を受けて本当に無残な姿の状態でごソリスタンドに寄ったらしいんです。そのガソリスタンドの方が気付いてまた通報してくださったんですが、そのガソリスタンドから橋のほうへ向かって行って、橋からその3歳と4歳のお子さんを投げ落としたそうです。それで、結局通報はしてくださったんですけど、子供たちの命を救えなかったという事がありました。それをきっかけにある団体が小山のほうの「カンガルーOYAMA」というNPO法人団体ですね。そちらの団体がこの痛ましい事件についてやっぱり考えるところがあるので、児童虐待防止の運動をしたいということで活動し始まりまして、そこにNPO法人の「里親子支援のアン基金プロジェクト」というところが協力して全国的に運動を始めるようになったそうです。それを聞いて自民党の女性局が、女性局として女性としてこれは一緒に頑張っていくものだとということで始まったそうです。そして、自民党女性局のほうではオレンジリボン運動ではなく、ハッピーオレンジ運動というふうに名付けたということです。このオレンジリボンの由来ですけども、その里親子支援のほうの団体のほうで、里親家族で育った子供たちがこの色を決めたそうです。子供たちにシンボルカラーとして何色がいいだろうという話をした時に、子供たちが明るい未来を示す色がいいという事でオレンジ色になったそうです。その子供たちの思いもそこにあったんだというのを、私も改めて後からその由来を聞いた時にびっくりしたんですけども。たまた

虐待かもと思ったら



児童相談所
虐待対応
ダイヤル

いちはやく

189



自民党
女性局
Liberal Democratic Party Women's Affairs Division

189番にかけると無料でお近くの児童相談所につながります。
通報者・内容に関する秘密は守られます。

ま私もオレンジカラーでずっとやってきたので、何かこう繋がるものがあるなというのがあったので余計とても興味があって、またその活動に一生懸命やりたいなという思いがありました。また、オレンジリボン運動のほうでは憲章として掲げているのが「私たちは子供の成長と発達を支援することが社会の責任であることを自覚して行動します」ということで、4つ項目挙げられています。一つ、私たちは子供の命と心を守ります。二つ、私たちは家族の子育てを支援します。三つ、私たちは里親と施設の子育てを支援します。四つ、私たちは地域の連帯を広げます。というようなことで掲げて、そういった虐待のない社会を目指すということで、このような憲章が掲げられています。皆さんのところにお配りしたこの189のステッカーですが、これも元々は0120から始まる長い番号だったんです。これを自民党女性局が一生懸命頑張っていて、国会議員の先生方が頑張ってくださいと、厚生労働省のほうと手を組みまして、それで簡単に189というダイヤルを回せば最寄りの児童相談所のほうに直接電話が繋がるというようなシステムを作ってくれました。ですので、この189、簡単な数字ですので頭のどこか隅に留めていただけたら、何か周りで目に付くことがあった時には是非このダイヤルに電話していただければと思います。このダイヤル189は、令和元年12月3日の朝8時半からスタートしたもので、まだ年数的には経っていないせいか普及がやはりまだまだされていなくて、一時期テレビコマーシャルなんかでも取り上げてもらっていたんですが、「189 いちはやく」というようなコマーシャルがあったんですけど、それもなかなか浸透してない部分もありますので、改めて今日この事を皆さんに知っていただけたらなと思ひまして、この事をお話するようにしました。わたくし今現在、放課後デイサービス、ロータリーのメンバーさんでも「いろどり」さんなんかもいらっしゃるので、瀬谷さんなんかもわかるかと思うんですけども、障害児を放課後預かるような形で、要は障害児の児童クラブみたいな所なんですけど、そちらをちょっとお手伝いさせていただいて感じる事がありました。健康児のお子さんよりも障害児のお子さんのほうが虐待やいじめにあってる事をとて日々感じる事が多くて、そういった事例をお話していいのかどうかちょっと迷ったりもしたんですけど、こんな事もあるんです、あんな事もあるんですっていうことで、皆さんが知っていただけたらと思うので、幾つかお話させていただきます。まず、障害児のお子さんですね。それぞれいろんな障害があります。これ父親からの虐待で保護された子供もいます。また、食事を与えてもらえない子供もいます。学校の給食が唯一の食事だという、そんな子供もいます。親がどうしてもこの子、私は見れません。なので、そちらで預かってくださいと言って、親からの希望の子供もいます。そういったことを日々感じた時に、やはりとても辛いです。

この子をどうやったら守ってあげられるんだろうとかいろいろ考えます。ですが、子供なので親の権限があるので、なかなかそこを踏み込んでいけない部分が今現在あるので、そういった時に周りで気付いた人間がこういった番号で児童相談所のほうに相談するというのが一つのやはり方法なのかなと思っています。先程、県連のほうから自民党女性局の活動のハッピーオレンジ運動というものもお話したんですけど、昨年でございますと11月23日、郡山商工会議所にて映画「189」というのを上映しました。これが活動してて今まで気付いてなかったんですけど、この「189」という映画があったことすら正直私も知らなかったのでもちょっと驚きました。その時にその映画のプロデューサーの吉野浩さんという方に講演会もしていただいて、事実起きていたことを基に映画化したんですというお話がありました。その映画の簡単なあらすじですが、健康児の子だったんですけどやはりこれも父親からの暴力があって、それでその町に住むことが出来なくなったので別の所へ引っ越したんです。ところが、その引っ越した先でも暴力を受けて、その前の町でも児童相談所が動いていて保護もしていたんですが、その自治体が変わるとそれぞれの相談所から相談所への連携が何もないんです。この子はこういう目に遭っていたんですよとかいうのが一切なくて、新しい自治体に行った時にそういう情報も何もない。だから、その家族を見守るそういう部門といいますか、そういった所属してる所がないんですよね。とても悲しい話なんですけど。そこで初めてまた保護を受けて、以前にも他の所でそういう事があったということすら資料さえもない、データさえもない、そういう状況というものをその映画の中でもちょっと出たので、改めてやはり今年度4月から始まりましたこども家庭庁、これの大事さ、横の連携が取れるというこの大事さというのを、改めて私はあの映画を見て思いました。横の繋がりがあって、それぞれどこへいてもちゃんと見守ってくださる方がいたら、本当に痛ましい事件は起きないなって思います。ちなみに、県内ですと児童相談所は4か所です。中央児童相談所、これは福島市です。県中児童相談所、これは郡山市です。会津児童相談所、会津若松市。浜児童相談所、これはいわき市。実はこの4か所で、白河にもあるじゃないかって皆さん思うかもしれませんが、実は白河はその県中の郡山市のほうから3名程派遣されて来てる白河相談室という形になります。これと同じように会津のほうは南会津相談室。いわきのほうは、南相馬相談室というような形で相談所ではないというのに、私も以前一般質問するためにいろいろ調べた時にわかりまして、白河も結構虐待の事実だったり、いじめの事実だったり沢山あるのに、たった3名の職員がこなしているのかなと思うと凄いなというその時の印象がありましたので、改めてここでもお話させていただきました。幸いといったらおかしですけど、西郷村のほうでは今現在はその虐待

に遭ってる子というのは表面化されていないのが事実です。ないと言ったら嘘のはずなんですけど、いろいろ調べても「いや、今のところは。」というような職員からのお話が聞こえてきて。やっとなら福島県内でもヤングケアラーなんかのアンケートとかもやるようになりましたが。それに関しても、子供たちがヤングケアラーって何というのがあるので、自分がヤングケアラーになっていないって思ってる子供が多いので、数字的にはそんなにはありませんでした。昨年度のアンケートで、県内は小学校、中学校、高校、このあと二校ですね、夜間高校。この4か所でアンケートを取った結果が、自分がヤングケアラーだって訴えたのが5.9%でした。この5.9%というのが多いと思うか少ないと思うかという、私は自分でヤングケアラーだという事も知らないでいる子供たちがこれだけ多いと、やはり自分で私はヤングケアラーだと思っている子供が5.9%いるというのはいくつか多いのではないかなというふうに感じました。ですので、実際そういう、昔で言いますとお家のお手伝いをするのって当たり前の事だったかもしれません。ですが、今現在はそういうヤングケアラーという言葉で、すいません、ヤングケアラーという言葉もご存じの方少なかったですかね。ヤングケアラーというのは、要するに介護の方の面倒を見てるとか、下の子の面倒を見てるとか、これって家族だったら当たり前の事ではあるんですけど、実はそれをやっつてのために自分の時間が持てなかったり、学習する時間が持てなかったり、またお友達と出かけたり遊んだりする時間が取れない。そのような子供が実際いるんです。そういう子達をヤングケアラーと言います。ですから、お家の事をやらなきゃいけないから部活入れない。お家の事をやらなきゃいけないから、遊びに行けないって言うお子さんたちがいたら、それはもうヤングケアラーに入ると思いますので、その辺もちょっと頭のどこかに置いておいていただいて、そういった言葉を耳にした時にはこれも一つの虐待として、この「189いちはやく」に連絡していただくとありがたいと思います。そういった数字も出ていますが、そこに対しての対処というの、これもまたなかなか進んでいないというのが現状であります。ただ、直接児童相談所のほうに連絡が行けば、それはそれで児童相談所のほうで的確に動いてくださる部分があるので、ですから皆さんこの「189いちはやく」を覚えていただけたらと思います。では、虐待で死亡するお子さんが一週間に何人くらいいると思いますか。虐待で死亡する子どもが、一週間に一人はいるそうです。ということは、年間にと考えるととても辛い話です。誰かが早く気付いてあげて、それを防ぐことができなかつたのかなって、いろんなニュースを見ていて皆さんそう思われると思います。その誰かが、もしかすると皆さんということもあると思うので、これからもし耳に聞こえてきた事とか、周りで起きてる事に目を向けていただくと本当にありがたいと思いま

す。ダイヤル189に電話しますと、固定電話とスマホではちょっと対応の仕方が違うらしいんですけども。固定電話ですとガイダンスから振り分けられて、それから今度市外局番によってその方の都道府県、何々市というのをわかるらしくて、そこから近くの児童相談所のほうに電話が繋がるそうです。スマホの場合ですと、すぐにオペレーターのほうに繋がりました、お住まいはどちらですかというようなことを聞かれて、直接近くの児童相談所のほうに繋がるそうです。もちろん、これは匿名で構わないということなので、ちょっとした事、気付いた事ありましたら、気軽にお電話していただけたらいいのかなと思います。これは令和3年度のデータではあるんですけど、福島県内「189いちはやく」の189のダイヤルで相談されてのが1870何件、すいません、正確な数字ちょっと覚えてなくて申し訳ないんですけど。1870何件、約1900件の相談があったそうです。この福島県だけで。でも、勇気をもって相談してくれた方のこれは件数であって、その他に気付かれたりした方がもっといるんだなと思うと、やはり少なくない数字だなと思います。この数字が多いということは悲しい事ではあります。ですが、この数字をやっぱり増やしたことによって、一人でも多くの子供も命が守られるんだしたら、この相談の件数がどんどん増えてもいいのかなと私は思っているのですが、矛盾した話にはなってしましますが、そのような考えが私の中ではあります。ですから、迷わずにお電話くださったらありがたいと思います。一般の財団でもかなりいろんな所で、そういった活動をしてるところは沢山あります。ですが、電話番号がやっぱり長かったり、通話料が無料じゃなかったり、またメールのみの相談だったり、その団体ごとによってそのやり方が違うというのもありまして、この189は通話料が無料ということもありますので、そういった点でも気軽にかけられる番号というふうに皆さん覚えておいていただいて、是非お近くにいらっしゃる大人の皆さんにもこの189というのを覚えていただいて、隣近所だったりいろんなお子さんを見てた時に、あつと思うことがあつた時には189のダイヤルを回していただければお願いしたいと思えます。ステッカーだけで今日はちょっとあれなんですけども、今このオレンジ運動のほうでパンフレットというのが以前作つたものはあるんですけど、特に最近新たに作つたものがないということがあつたので、本日ステッカーのほうを準備させていただきました。これを皆さんの会社等いろんな所で、入り口とか人の目につくところに貼つていただけたら嬉しいなと思つたので、ステッカーを今日お持ちしました。若干余つてるといいますか、会場にいらつちゃっている方分だけ今日はお渡ししたので、ロッカーのほうには入れていないので私の手元にまだありますので、もっと貼つとくよと仰る方がいらつちゃつたら、是非ステッカーを私のほうに取りに来ていただくとありがたい

思います。ちょっと暗いお話になっちゃったような気がするんですけども、でもその子供たちの明るい未来のためにということで、ご理解いただけるととても嬉しく思います。いつもながら話が下手で大変申し訳ありません。聞き取りにくい部分もあったかとは思いますが、ご清聴いただきましてありがとうございます。

松永紀男会員



皆様、改めまして3度目の新入会員となりました松永紀男と申します。よろしくお願ひいたします。突然弁明の機会を与えていただきましてありがとうございます。このような機会をいただけるとは思っていなかったものですから、全くノープランで今ここに立っております。ほぼ3年くらいですね、実はご無沙汰しております。その期間何をやってきたかということなんですけども、特に皆様にお話しするような面白いとか素晴らしいとかそういうのはございません。ただ、一度足が遠のいてしまうと、正直言いますとやはりロータリークラブという組織自体ちょっと何となく心の中で敷居が高い感じになってしまって、少し足が遠のいていたというそういう形でございます。ここ最近いろいろな方々から「お前、いい加減に顔を出せよ。」とか「生きてたのか。」とか、そういう激励と私は解釈しているんですけども、温かいお言葉をいただいたものですから、更に先日大竹さんのほうから「私が卓話するんだから、来るよね。」みたいな念押しの連絡もいただいたものですから。これを機会に、リハビリのつもりで当分は参加させていただいて、時が来ればというか近いうちに以前、年間で皆勤させていただいたこともありまして、メーカーも含めて積極的に参加していきたいと思っておりますので、改めてよろしくお願ひいたします。今日はどうもこのようなお話の機会、ありがとうございます。よろしくお願ひいたします。

高島裕会長

松永さん、せっかくこうやって来られたんですから、積極的に参加していただけるようによろしくお願ひしたいと思います。ということで、大竹さん、今日は本当に卓話ありがとうございます。こういった取り組みというのは、我々が本当に必要だというふうに日頃から思ってるものですが、なかなか子供たちにしてみれば自分が置かれてる環境が当たり前だったり、それが普通なのかなと思ってしまうという子供もいるのかなと思います。ですから、それを我々がいち早く察して、そういったものを真意を突き止めなければいけないということもありますし、あるいはこういった良い事業なんですけど、例えばユニセフ

の「つなぐよ子に」なんていうようなテレビコマーシャルなんかあるように、やっぱりあいった媒体を使ってやるというのも非常に有効な、どうしてもイメージとしてコマーシャルの「つなぐよ子に」というユニセフのセリフが常に残ってしまいますので、あいった活動も一つなのかなと思います。ただ、こういうふうな細かい普及活動を行いながら、だんだんやっていかなければいけない。そして特に我々は、子供たちの為に何かをして、子供たちのために何かを送るみたいなそういった物ではなく、形として何かを残すということも必要なかなというふうに思っております。こういった事業があって、我々のクラブのメンバーの方がそれに取り組んでおられるということに関しては、大変誇りに思っておりますので、今後我々もこういった活動を続けてまいりたいと思っております。それに伴って、大竹議員のほうもこういった活動をいろんな場所で宣伝していただいて、子供たちの為に尽くしていただければなと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。こういった話も、議会で話してもなかなか通らない部分もありますが、地域を巻き込んで、そして仲間を巻き込んでやっていくというのも、一番早い手段なのかなというふうに私自身考えておりますので、そういった部分も踏まえていろんなオファーあるでしょうから、子供たち救えるような何か政策が必要かなと考えております。また、ヤングケアラーのお話ありましたが、やはり置かれてる環境が自分でヤングケアラーだということがわかっていないために、学校に来ても家の事やっているために学校で居眠りをしている子供がいたりとか、ということが本当に数多くいらっしゃいます。そういった子供たちの為にも何かそういった手立てをしてあげられるというのは、我々の一つの目標であるのかなというふうに考えておりますので、皆さんで力を合わせて頑張っていきたいなというふうに考えております。どうぞよろしくお願ひしたいと思います。今日は素晴らしい為になるお話をいただきまして、ありがとうございました。時間もちょうど良い頃だと思っておりますので、この辺でお礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございます。

次年度幹事

村上堅二会員

皆さん、こんにちは。ご連絡遅くなりまして、大変申し訳ございません。来週4月25日、第一回クラブ協議会の開催が決定しております。役員の方々、是非ご参加いただけるようよろしくお願ひいたします。